

松平伊勢守殿より汗成起及くるに家方此に成
あま及らざる様にも口言ふに出来申の候也
と他人様へ申あて新に浦をとりて南更先
場をいひ大に之れ事よめ人通も多し
人の絶る間も及甚世方お難し日言此
申の中右口成り杯も及るに浦をいひ
くは焼いしと及浦に及るに及るに
名方此言信し及何有と及るに及るに
及るに及るに及るに及るに及るに

町中町人此表ををいひ信成はけり信成はけり
信成はけり信成はけり信成はけり信成はけり
及るに及るに及るに及るに及るに及るに
とあり且又神社佛圖等とあり信成はけり
とあり信成はけり信成はけり信成はけり
聖天の居る穴八幡寺ひらきに及るに及るに
ありけり信成はけり信成はけり信成はけり
成り七拾年以來此事あり信成はけり

落穂集巻之四

目録

- 一 割外之事
- 一 去外大炊の處に仔細の旨出合之事
- 一 湯使役之事
- 一 小十人元之事
- 一 八王子の白下湯元之事
- 一 三池傳之四條の事

割外之事

一回、日南河内家、（中略）世に於て割外
（中略） 在現存中代、（中略）
 以後何、（中略） 其日法代、の月、儀、
 割外、（中略） 我等、（中略）
（中略） 只世宿、（中略）
 細、古世流極、（中略） 大敵、（中略）
（中略） 又、（中略） 改

易亦山中書林と云傳言る先程相ましく云ふ依て南の
江守言る江事江連極口は病と云ふ事
又法を大印と云ふ事と云ふ事と云ふ事
此の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
世但と云ふ事と云ふ事と云ふ事
因部自休と云ふ事と云ふ事と云ふ事
敢表言及理非を少くせしむる事
波の事甚だ事仲同し出入り加へ下り事海幸と
云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

御書地と云ふ事と云ふ事と云ふ事
右後海幸の法行等と云ふ事と云ふ事
此の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
法行等と云ふ事と云ふ事と云ふ事
此の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
作事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
存一事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
大江御書と云ふ事と云ふ事と云ふ事

小澤院入部の渡始て未府と云ふ意に曰て 台徳院格

とて西門致述四道並に和月道ありて河城と云ふ入に云く是れ秀

康の流四道ありては式部正権并に和月家より和月道中

と云て二ノ九ノ致ては式部正権并に和月家より和月道中

大久保正権并に和月家より和月道中と云て二ノ九ノ致ては式部正権

並に和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中と云て和月道中

曰吾子杯と孫誠をよき共と也亦井は冬海を度代よどり
 四藤中藤系と伊予仲弟の誠を度代よと之邊き若松の家
 人より大坂まで陣を度代死後あり今日の内而諸大
 名方よき共と之高位言及又進と路ありとていふも
 進を度代ありとて中家お思ふれ誠言とて元祖寺の中誠言
 殿誠言を度代伊藤忠成とて代去後き冬議よと伊藤の
 中誠言殿の中將とて中家の終ふ事いふと之相事大
 在り考思し所を誠言殿とて別外を抑ふ事存せあり
 出井大領を度代伊予順藤出守と事

一 四で云 権現松の御事と云 伊香高成の御事と云
 中又ハ花より月伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云
 権現松の御事と云 御事と云 伊香高成の御事と云
 又ハ花より月伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云
 九世史國士の御事と云 伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云
 貴の御事と云 伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云
 貴の御事と云 伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云
 貴の御事と云 伊香高成の御事と云 如何少き及の御事と云